

札幌医科大学における平成30年度一般入試（前期日程）等における出題ミスについて

本年2月25日に実施した標記入試において、理科「物理」の設問で出題ミスがあることが判明し、下記のとおり対応することとしました。

記

1 対象入試及び募集定員

- 医学部一般入試（前期日程） 75名（推薦入試を含めると110名）
- 医学部私費外国人留学生入試 若干名

2 試験実施年月日

平成30年2月25日（日）

3 合格発表年月日

平成30年3月6日（火）

4 出題ミスのあった科目名及び設問

「物理」1問8 ※ 理科は、生物、化学、物理から2科目選択（各科目100点配点）

5 判明の経緯

平成30年3月7日（水）に予備校から、設問の設定の適切さなどについて質問があった。

6 出題ミスの内容と本学の対応

- 本学において複数の物理担当教員で設問について検証した結果、正答を導き出せる設問であるが、条件設定に不備があったため、受験者に正答以外の解答があるとの誤解を生じさせる設問であった。また、こうした設問の条件設定の不備に気付かず、採点基準にも不適切な点があった。
- この2つのことから、当該設問を無効とし、物理を選択した全受験者に本問の配点を加点することとした。
- この加点措置により、改めて合否判定を行った結果、医学部一般入試（前期日程）において、新たに1名を追加合格者とすることとし、本人と保護者へ謝罪と説明を実施した。

7 再発防止策

今後、こうしたミスを出すことのないよう、より一層慎重かつ適切に作問を行うため、外部委員の追加を検討するなど、作問等の体制を強化する。

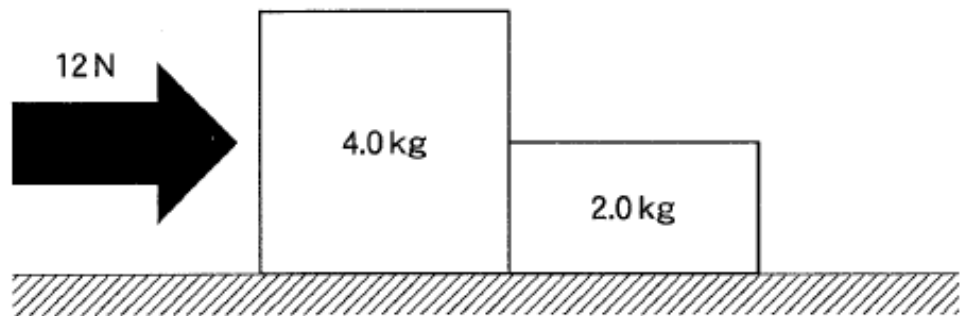
【 抜 粋 】

物 理

1 次の各問いに答えなさい。なお、数値解は有効数字2桁とする。

～ 問1から問7 略 ～

問 8 4.0 kg と 2.0 kg の二つの箱が水平な床の上にある。図のように二つの箱を並べて、4.0 kg の箱を 12 ニュートン (N) の力で押したことにより、二つの箱は同じ加速度で運動した。重力加速度の大きさを 9.8 m/s^2 、床と箱の動摩擦係数を 0.30 としたとき、4.0 kg の箱が 2.0 kg の箱を押し力の大きさはいくらか。



札幌大の検討結果

本問は、二つの箱の間に働く垂直抗力を求める方法と加速度から求める方法のいずれの方法によっても正答を導き出せる設問ではあったが、運動の条件について記載がない中で加速度の値が負となる設定は、条件設定として適切さを欠くものであったと考える。